



共育に関する情報をお届けします。

## The third lesson

## みんなで考える『新しいクッピーラムネ』

2026年1月31日、老舗菓子メーカー・カクダイ製菓株式会社(愛知県名古屋市)と連携した共創型PBL (Project Based Learning) プログラムの第3回が開催されました。今回は『難しかった〜』と子どもたちからの声も。意見を深掘りし、考え、みんなの意見でさらにブラッシュアップされていく、そんな時間になっていきました。

### 1 前回のふりかえり

『作る』と『生み出す』について再確認。今日は『生み出す』仕事にフォーカスし、みんなで『こんなあったらいいよ』を考えていきます。

次の授業の予習にもなっている/  
**自主学习『聞いてみよう!』**

- ①最近買ったお菓子は?
- ②どうしてそのお菓子を買ったの?

どんな人が、どんな時に、どんなお菓子を買うのか? これを聞くことが、今日の授業のヒントになっているんですね。

お家の人や  
お友達に聞いて  
きたよ



### 2 クッピーラムネの魅力は?

- ★誰に届ける?
- ★どんな時に食べる?
- ★他のラムネではなく、なぜクッピーラムネなの?

フセンに書いて  
みんなで共有  
します



### 5

### もっと良くするためには?



アイデアを更に広げていきます。  
★『もっとこうしたら?』  
★『これもいいね!』  
★など、どんどん磨かれていきます。  
次回もどんなアイデアが出るか、楽しみです(^.^)

### ターゲットはどんな人?

- ★誰に食べてほしい?  
・外国人・犬(動物)・大人・運動する人・小学生等々、色々な意見がありました。



『どんな動物に食べてほしい?』と聞かれ、『アルマジロ?』との回答が! 予想外の意見に思わず笑みが(^.^)

### ★どんな気持ちの時に食べる?

この質問はちょっと難しかったかな。でも、いい意見が沢山出ていました。



### 番外編



残念ながら採用されませんでした。が、大人にもどんなお菓子が欲しいか聞いてみました。  
・健康になるお菓子  
・食べたら痩せる  
等々、現実的で切実な思いが溢れていました(^.^)

### どんな商品がいいかな?

みんなで、外国人と動物をターゲットに絞って進めることに決めました。  
どんな味?どんなパッケージ?  
どんな気持ちになってもらいたい?  
等の意見をフセンに記入、分類して貼っていきます。



TO BE CONTINUED

名古屋市に本社を構えるカクダイ製菓は、1919年（大正8年）創業の老舗菓子メーカーです。戦後間もない頃からラムネ菓子づくりに取り組み、1963年に誕生した「クッピーラムネ」は、今では親から子へと受け継がれるロングセラー商品として、三世代にわたり愛され続けています。

同社が大切にしているのは、「子どもたちに安心して食べてもらえるお菓子づくり」と、「お菓子を通して笑顔を届けること」。地域に根ざし、長年にわたり信頼を積み重ねてきた企業です。

Uni-Oneの共創プログラムでは、子どもたちがこのような地域企業の方々と直接対話し、商品に込められた工夫や想い、ものづくりの背景を学びます。

そして学んだことをもとに、自分たちの視点で新しいアイデアを考え、仲間と話し合い、形にして発表していきます。

普段食べているお菓子の向こう側にいる「つくる人」や「働く想い」に触れる体験は、社会とのつながりを実感する大切な機会です。地域の企業とともに学ぶこの経験を通して、子どもたちの「考える力」「伝える力」、そして自分の未来や社会に関心を持つ心が、少しずつ育っていくことを願っています。

### 日々の小さな変化から

例えば、事前に質問してから授業に参加したり、どんな商品があるんだろう？と自主的に調べることに慣れ、学校での発表で緊張しなくなることに、この商品ってどうやって作られているのかな？という視点をもつこと等、子どもたちにとってこの体験が自信になる場面がやってきます。この積み重ねが、子どもたちの成長や変化につながっていきます。是非、お子様の日々の小さな変化に目を向けて、『よく気づいたね！』『すごいね』等、変化を自信に変え、伸ばしてあげてください。

### Today's goal

- ★『生み出す仕事』をもっと知る。
- ★みんなで『こんなのがあったらいいな』を考える。



第3回目の授業のゴールは上記でした。

次回以降の授業のポイントになる質問を、授業の最後に子どもたちに伝えています。

**【自主学习】** お店で「なんか気になるな」と思ったお菓子を1つ見つける。

- ①だれのためのお菓子だと思う？
- ②どんな時に食べそう？
- ③なんで気になったと思う？(色？名前？形？雰囲気？)



### Next

## 第4回はみんなの案を『商品』っぽくしてみよう

今回のカクダイ製菓様との共創PBL(問題解決型・主体的)授業は全5回を予定しています。

第4回では、みんなから出た沢山のアイデアをカタチにしていきます。

「どんな名前？」「どうやって売り出す？」など、この授業を通して商品を生み出し、販売に至るまでにどんな過程があるのか？

子どもたちは“社会の見方・企画の型・伝える力”を楽しみながら学んでいきます。既に他の商品を楽しんでリサーチしてくれている子どもたちの姿に大人も学ぶことが沢山できています。

### 合同会社 Uni-One

所在地：愛知県名古屋市千種区桜が丘119-110

代表：室園 幸志 (CEO)

事業内容：共育事業・企業支援事業・美容と癒し事業

🌐 <https://uni-one.co.jp>

✉ [company@uni-one.co.jp](mailto:company@uni-one.co.jp) ☎ 052-990-0152

-思考とコミュニケーション-



お友達登録もお願いします(^^)

